

まちだみどり活用ネットワーク

活動ビジョン【概要版】

2023年7月作成

まちだみどり活用ネットワークはどんな組織？

町田市内の公園、緑地、里山、農地などのさまざまな“みどり”を活用していくため、事業者、NPO法人、農業者、公園指定管理者、町田市などが連携して設立した任意団体です。

みどりを活用することで暮らしが豊かになり、みどりが良好に保たれる。そんな、人もみどりもよこぶまちの実現を目指して、産学官民の仲間を募集しながら連携して取り組みを進めます。

まちだみどり活用ネットワークでどんなことをするの？

みどりを活用してやりたいことの実現や困りごとの解決に向けて、まずは特に多様なみどりがある忠生・北部地域をモデルとして取組を実践します。会員で活動内容を提案・検討し、活動ごとに実行委員会を立ち上げて進めます。

モデル地域での実績やノウハウを、市内各地のみどりでの活動展開や連携拡大につなげていきます。

まちだみどり活用ネットワーク設立の経緯は？

みどりの活用とそのための体制について、2021年から産学官民による意見交換を重ねてきました。2022年夏には、連携による試行として、公園を活用しマルシェと自然体験を楽しむ企画を実施しました。

連携してみどりの活用促進に取り組んでいくため、意見交換に参加した方々が中心となり、2023年4月にこの組織を設立しました。

みどりの活用により実現したい将来像

「本当の豊かさがある 人とみどりがよろこぶまちへ」

本会の使命(ミッション)

～みんなに開かれたみどりの実現～

みどりを
場所として開く

みどりの
活用可能性を開く

みどり活用の
情報を開く

取組方針

みんなが楽しめる**体験**の場づくり
を進める

みんなが支える**挑戦**の場づくり
を進める

みんながつながる**交流**の場づくり
を進める

■本会が発揮する機能

みどりに関わる官民の多様な主体が連携することで、次のような機能が発揮されます。

- 活動者間や関係者間の**連携促進**
- みどりに関する**情報発信**
- 人や場所の**マッチング**の促進

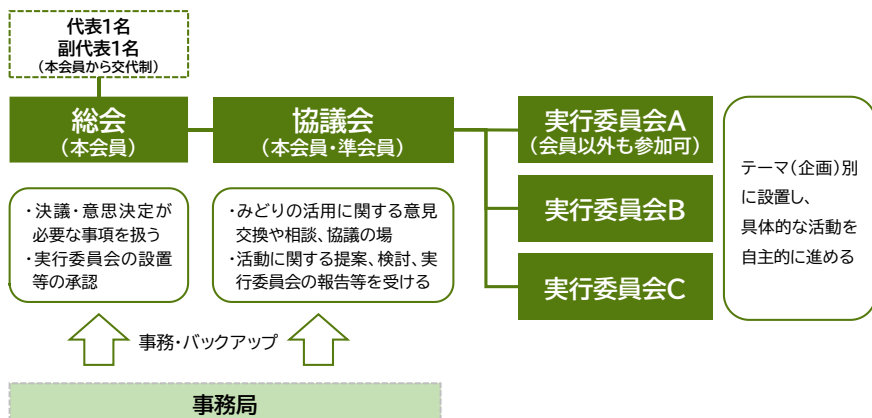
■組織体制

関わり方は3つあります。

- 本会員
- 準会員
- 会員以外

協働の枠組みも3つあります。

- 総会
- 協議会
- 各実行委員会



■ 会員参加のメリット

みどり活用の仲間や
つながりが増えます

会員が互いのつながりや知識・ノウハウを活かし、個々では解決できない“困りごと”や実現が難しい“アイデア”にも、支援しあって取り組みます。

はじめての場所・
はじめての活動を
官民で連携して実現します

“はじめて”の挑戦の実現を官民連携で応援します。会員になることで、同じく会員として参加する行政との相談や連携もしやすくなります。

いろいろなみどりで
横断的に取り組みます

公園、緑地、里山、農地など、多様なみどりを横断的・複合的に扱います。一体的に情報発信や取組等を推進することで、新しい参加者層の拡充や取組の相乗効果が見込めます。

協力しあうことでさらに
みどりを活用できます

みどりの管理・利用にお困りの方や存在が知られていないみどりと、みどり活用に関心や挑戦意欲がある方がつながり、協力し合うことで、みどりが活動場所として活用され維持しやすくなります。

だれでも
ウェルカム！

活動への参加
実行委員会への協力

だれでも◎

みんなと
つながる！

情報共有ネットワーク
への参加

入会すると◎

みんな
チャレンジ！

新しい取組(実行委員会)
の立ち上げの提案

本会員になると◎
協議会は準会員も◎

会の方針を
決める

協議会や総会への
参加

事例の紹介

「ずしまちいち」の開催

企画運営：ずしまちいち実行委員会

日時：2022年7月24日（日）午前10時～午後2時

場所：函師日影坂下公園 広場（町田市函師町84-2）

本会の設立に向けた検討の中で、試行的にみどり活用の取組を実施しようと、参加者発意による「ずしまちいち実行委員会」が立ち上がりました。有志の実行委員が連携して企画・調整を進め、収支計画や出店要領等も自分たちで作成し、みどりを身近に感じ、魅力に触れられる「ずしまちいち」を実施しました。

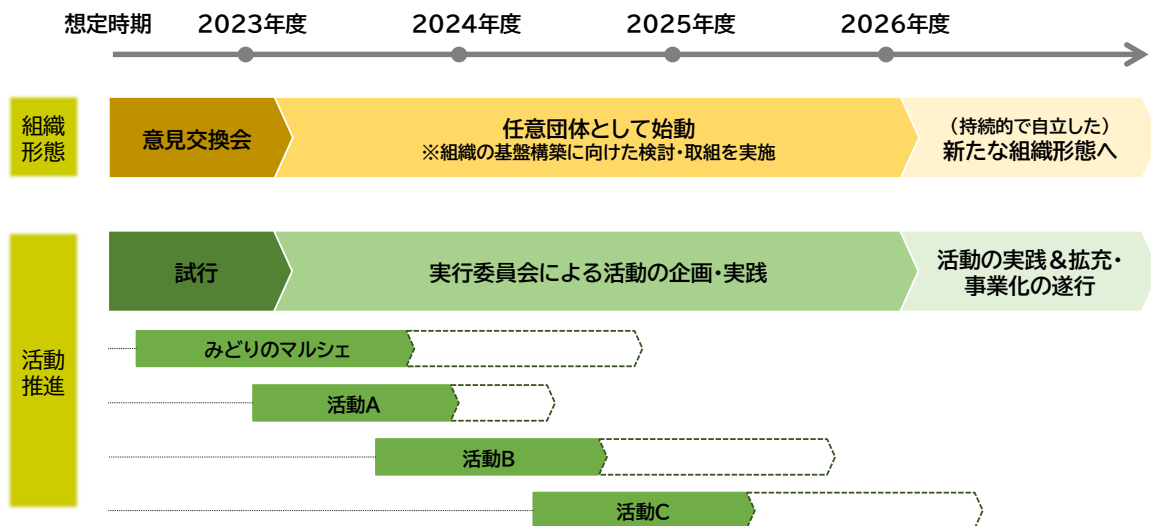
マルシェ（野菜販売・キッチンカー・だしがしや）と自然体験ブースなどが出店し、地元小学生や町田市内外の多世代の来場者で約600人が集まり、まちの“普通の公園”に“特別なにぎわい”が生まれました。



みどり空間の
魅力を市民に
伝えることが
できました！

実行委員
河合農園 河合さん

■将来像の実現に向けたロードマップ



まちだみどり活用ネットワークの取組

活動の実践によりノウハウを蓄積しながら、みどりの活用を実現する仕組み・体制を軌道に乗せていきます。使命「みんなに開かれたみどりの実現」、取組方針「みどりを活かした交流・挑戦・体験の場づくり」に基づいて、取組をバランスよく推進します。

まずは忠生・北部地域をモデルとして実践しみどり活用への共感・支持を広げ、長期的には町田市内全体にも取組や効果を波及させていくことを目指します。



実行委員会の活動

会員や地域住民の「やってみたいこと」を企画にして、実行委員会で連携して活動を実践します。地域内外からの新たな参加を促し、多様な参画機会を提供することで、多くの人が自分に合った関わり方を見つけ、参加が定着し、活動が持続されることを目指します。



持続的な取組のための検討

みどり活用の取組を持続可能なものとするために、活動を推進しながら、地域や町田市内外の連携先との関係を構築します。また、活動の実践を通して仲間や支援者を集め、組織の基盤確立を目指します。

● 組織概要

名称：まちだみどり活用ネットワーク（任意団体）

会員数：12（本会員8・準会員4）

（2023年4月時点）

事務局：町田市 都市づくり部 公園緑地課

東京都町田市森野2-2-22

電話 042-724-4397



まちだみどり活用ネットワーク

ホームページ

規約や活動ビジョン、実行委員会の活動情報などを掲載しています。



事務局運営・問い合わせ先：

特定非営利活動法人 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区神田小川町3-6 日本分譲住宅会館ビル8階南

電話 03-5244-5447